

建築生産システムとしての 現場ネットワーク

～セキュリティと情報技術の視点から～

2005.12.6
鹿島建設株式会社
ITソリューション部
太田忠宏

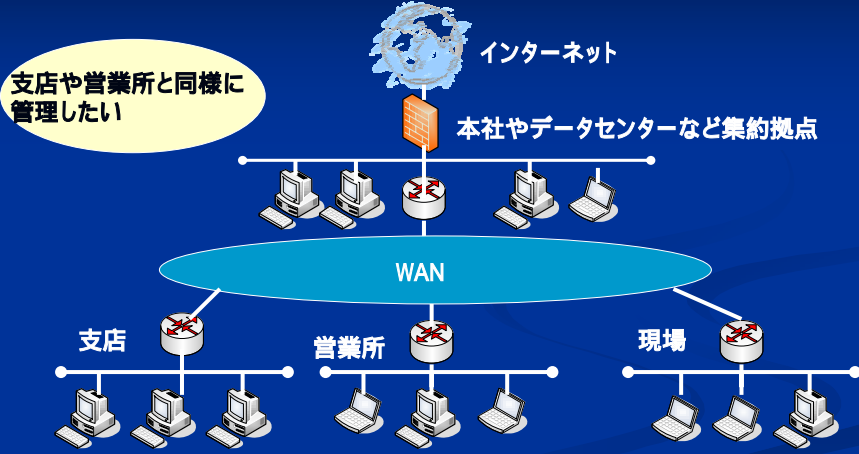
© 2005 Kajima Corporation

社内ネットワークとは

- 社内ネットワークの範囲
 - 本社、支店、営業所は間違いなく社内ネット
 - 現場をどう考えるか？（社内か社外か？）
 - 情報システムの充実
 - 各種管理システム
 - メール
 - 寄り合い所帯
 - JV構成他社
 - 協力会社
 - その他
- 社内ネットワーク
- 社外(外部)ネットワーク

© 2005 Kajima Corporation

管理者からみた現場ネットワーク



© 2005 Kajima Corporation

少し前の現場ネットワークイメージ



© 2005 Kajima Corporation

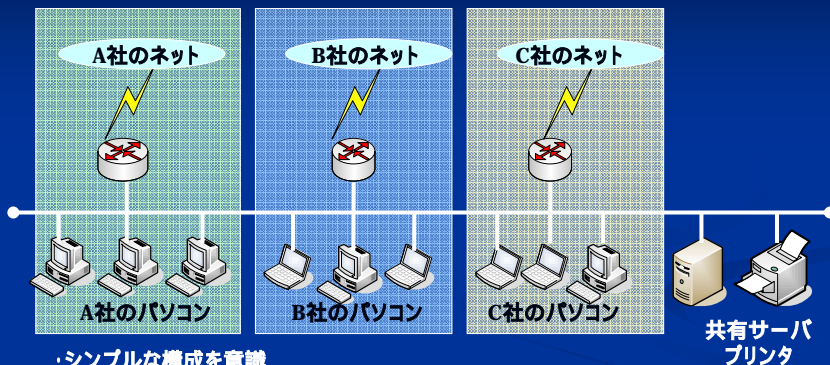
情報共有ニーズ

- 各社管理部門との情報共有
 - JV各社間での情報共有
 - 施主、設計事務所との情報共有
 - 協力会社との情報共有
- ➔ JV現場ネットワーク構築
ガイドライン

ネットワークの仕組みから考えると一見矛盾！
・社内システムを利用でき他社とも情報共有

© 2005 Kajima Corporation

ガイドラインに沿ったネットワーク構成



- ・シンプルな構成を意識
- ・安価に実現可能な構成を意識
- ・構成会社のネットワーク計画に影響を与えないことを意識

詳細は、http://www.bcs.or.jp/bcs_it/jv/jvnw_2.pdf を参照

© 2005 Kajima Corporation

課題：ネットワーク接続について

- JVはガイドラインを作成したが施主・設計事務所、協力会社との情報共有は？



直接接続させる事は難しい

- 現場にFirewallを構築し接続させる 大規模な現場以外は難しい
- インターネットを利用 ASPサービスが良さそうだが...

インターネットを高速で利用できる環境が必要

概ね整ってきた

・コストは？(回線コストは下がったがASPサービスの費用は？)

・サービス内容、操作性など使い勝手は？

© 2005 Kajima Corporation

課題：情報セキュリティの脅威

- コンピュータウイルス
- 情報の漏洩
- スパイウェア
- スпамメール

など

現場共有パソコンの対応

Windowsのパッチ適用

ウイルス対策ソフトの定義ファイル

組織的にどのように対応するか？

現場としてレベルが合っている必要あり
ウイルス対策は浸透してきているが...

© 2005 Kajima Corporation

今後の方向性

- インターネットの更なる有効活用
 - ASPを活用した情報共有など
 - 施工にも活用
 - 構成各社への安価でセキュアな接続
 - 既に利用が進んでいるが
- 通信事業者サービスも利用したセキュリティ対策
 - 構成各社のセキュリティ対策+通信事業者のサービス

© 2005 Kajima Corporation

END

© 2005 Kajima Corporation